

西之島の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

11 月 30 日、海上保安庁第三管区海上保安本部の観測によれば、新島の東側に流下している溶岩流は 26 日よりも拡大しているのが確認されました。

12 月 1 日、海上保安庁と共に行った上空からの観測でも溶岩流の流出が継続しているのを確認しました。

今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島付近では警戒して下さい。

平成 25 年 11 月 20 日に火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しています。

○ 活動概況

<11 月 30 日の状況>

海上保安庁第三管区海上保安本部の観測では、噴火は継続していました。詳細は以下の通りです。

新島の東に流下している溶岩流は 11 月 26 日よりも拡大しているのが確認されました（図 2、3）。

また、第 1 火口、第 2 火口から噴煙が上がっていることが確認されました。第 1 火口では高さ約 20～30m の黒色噴煙が約 1.5～2 分間隔で噴出し、時折高さ約 100m まで上がるのが確認されました（図 4）。新島の西側には茶褐色の変色水が確認されました（図 2）。

<12 月 1 日の状況>

海上保安庁と共に行った海上保安庁航空機による上空からの観測では、新島の大きさは前日（11 月 30 日）の状況と顕著な変化は認められませんでした。新島の火口からは青白色の噴煙が高さ約 2,000 m まで上っており、時々黒色噴煙を伴う噴火が発生し、高さ約 1,000m まで上昇しているのを観測しました。溶岩流は 11 月 26 日に確認された第 2 火口付近の溶岩流出口（第 3 火口）から流出し、溶岩流先端の海岸線ではところどころ白煙が出ているのを確認しました（図 6）。

茶褐色の変色水が新島西岸から西方向へ約 300m 流れていました。また、別の薄い茶褐色の変色水が、西之島本島西岸から西方向へ約 200m 流れていました（図 5）。

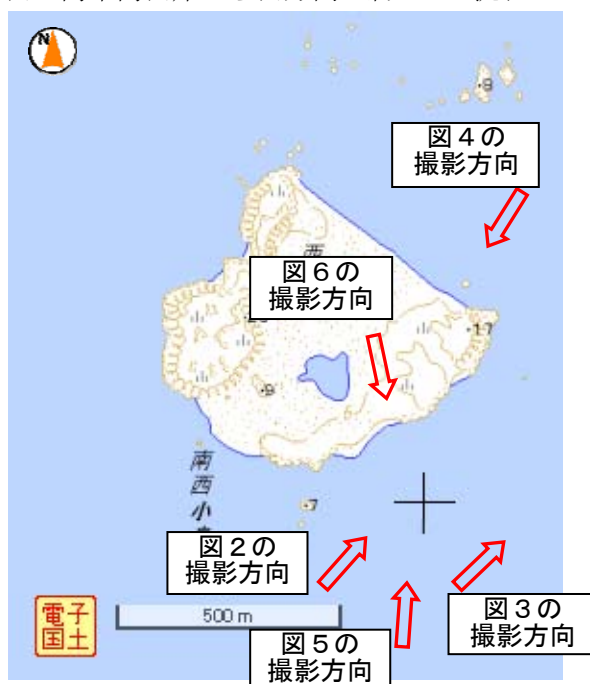


図 1 西之島、噴火地点の概位（+印付近）及び撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、海上保安庁のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

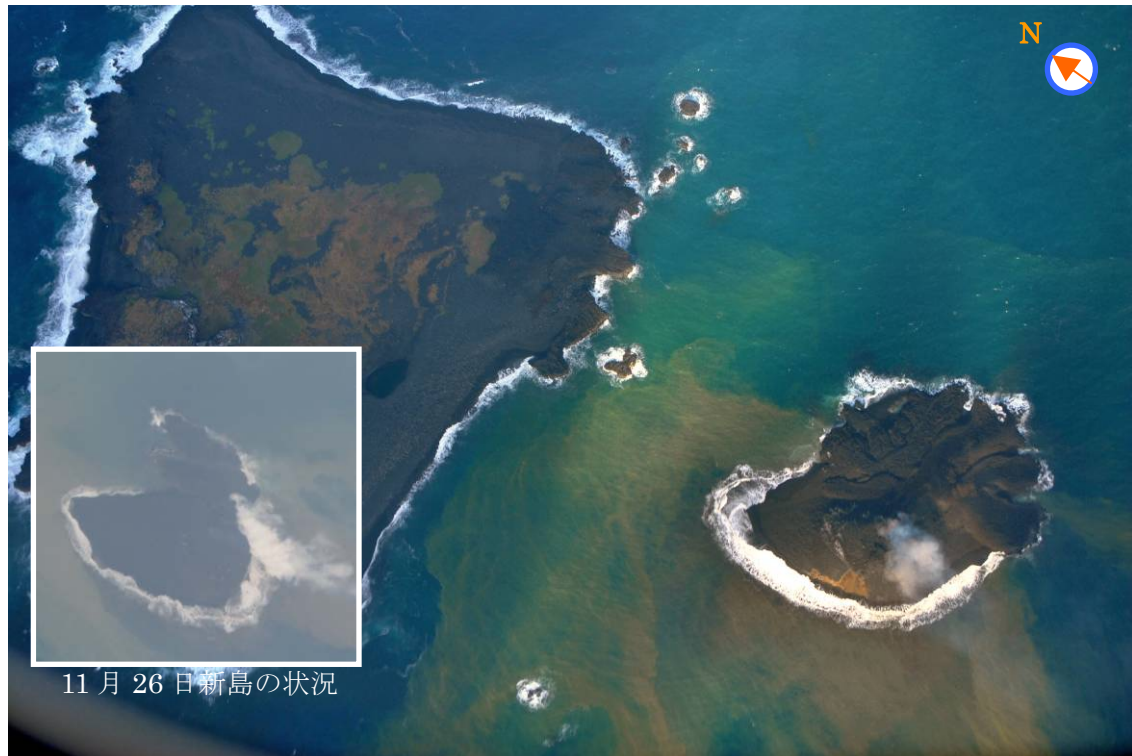


図 2 西之島 新島の状況（11 月 30 日 14:23 南西方向から撮影）（第三管区海上保安本部提供）
新島の東に流下している溶岩流は 11 月 26 日より拡大しているのが確認されました
（図内の白線内は 11 月 26 日に気象庁が撮影した新島の状況）



図 3 西之島 新島の状況（11 月 30 日 14:21 南西方向から撮影）（第三管区海上保安本部提供）



図 4 西之島 新島の噴火状況（11 月 30 日 14:52 北東方向から撮影）（第三管区海上保安本部提供）
第 1 火口付近に赤熱部分が確認されました。



図 5 西之島 新島周辺の変色水の状況（12 月 1 日 14:00；南方向から撮影）
（海上保安庁提供）

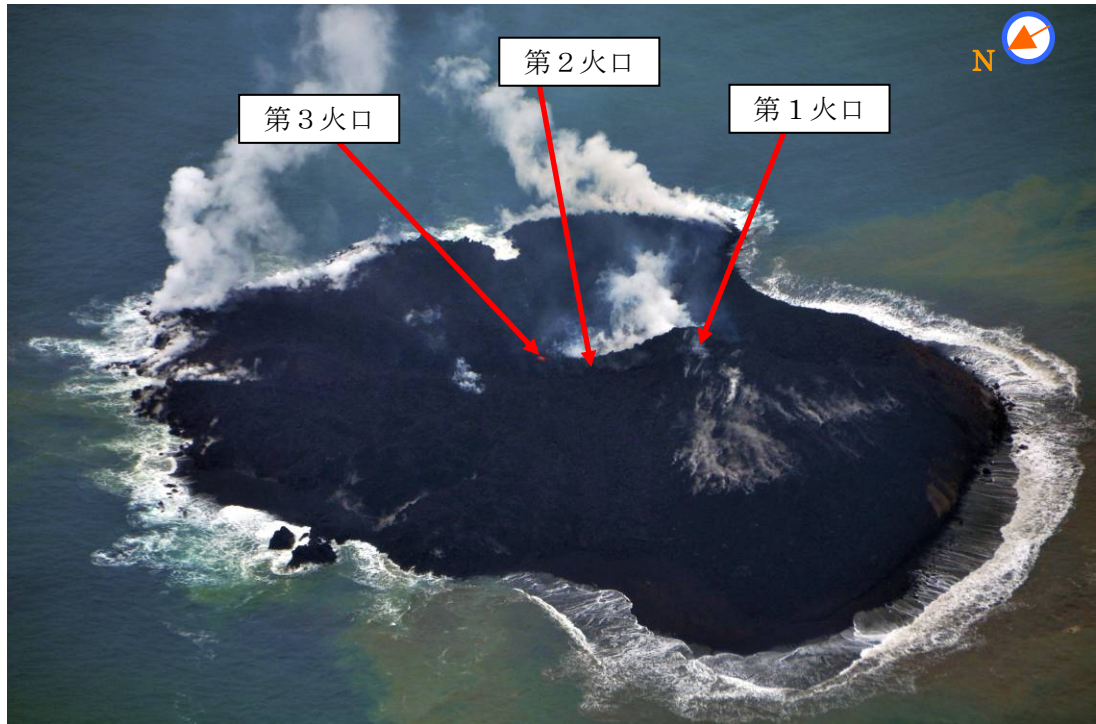


図6 西之島 新島の状況（12月1日14:35；北西方向から撮影）（海上保安庁提供）
（図内の火口位置については、気象庁の追記）